



とびっくす TOPICS ~in海外~

8月号 2008.8.15
国際業務室 内線3702.3715
011-233-1093

「五愛トンネル」開通!!!

7月30日、「五愛トンネル」が開通した。全長1760メートル。このトンネルは、瀋陽を流れる渾河の下を通り、市街地とオリンピックサッカー競技場を直結させる。そのあたりの川幅は約500メートル。「トンネルを掘るのは、さぞ大変だったろう」と思われそうだが、そう難しくはなかった。なぜか??
工事は昨年暮れに始まった。まず、上流のダムを調整し、流量を減らす。瀋陽の冬は、毎日真冬日だから川は完全に氷結する。そうになると、渾河はもう「川」ではない。ショベルカー、ブルドーザー、ダンプカーが、川底を24時間休みなく縦横無尽に走りまわる。川底を掘ってトンネルをつくり、出来上がったら埋めるのである。川底部分は春が来るまでに完成した。春になると氷が解けるから、造るほうも必死である。こんな方法だから、6ヶ月あまりで「五愛トンネル」が完成したのである。生態系はどこへやら・・・
お魚さんにとっては、とても迷惑な、そして気の毒な話である・・・。



瀋陽事務所：正司 毅

オリンピック間近の北京の様子

北京オリンピックが開催されました。この為に北京市政府は様々な対策をとってきました。一つ目は大気環境対策として「単双号限行」という車両ナンバーの偶数奇数を7月20日から2ヶ月間偶数日と奇数日によって走行を制限し、車両を半減させようというもの。当室の運転手も奇数日は自宅待機となっています。二つ目は公共交通機関の充実で4,000台にも上る天然ガスの路線バスが投入されました。しかし、逆に公共交通機関が人で溢れ、市民生活に影響を及ぼしています。さらに地下鉄3路線をようやく開通させるという対策も採られました。空港と市内を結ぶ路線は期待させていたものの非常に不便で「とりあえず開通した」という感が強いです。
最後にこの期間、建築・土木工事や化学工場操業を原則停止する、市内の緑化を急速に進めるといったことも実施されました。(緑化率40%達成)
様々な対策が講じられているものの、本日の北京は隣のビルが霞んで見えるほど空気が白いです。7月はほとんどといっていいほど青い空を見ることがとうとうできずでした。スモッグなのか自然現象なのかははっきり致しませんが、皆様のご家庭で写る北京の姿はこのまあいくとおそろく霧の摩周湖ならぬ「霧の北京」かもしれません。

北京事務所：坂口 秀之



ここに注目!

8月なのでオリンピック関連の話題を!と思いましたが、残念ながら上海ではオリンピックの盛り上がりはほぼ「皆無」といっている状況です。オリンピック関連の話題といえば、テロリストが捕まった、地下鉄の乗り降りの際に携帯物のX線検査をされるとか、良くない話しかありませんので、敢えて別の話題にします。

昔の中国は「自転車と人民服」というイメージでしたが、今や上海ではこんな自転車?ともスクーターともつかないものがたくさん走っています。こちらでは「助動車」(zhu dong che)といい、家庭用電源で充電可能な電池を内蔵し時速30kmは楽に出ます。渋滞の多い上海では「最も早い移動手段」といって憚らない人もいます。一応ペダルはついていますが普通の自転車より相当重いので、漕いでいる人はほとんどいません。法律上は「自転車」と同じ扱いだそうです。

こちらの自転車やスクーターは歩道を容赦なく走りますし「電動」なので近づいてきても全く判りませんので歩く方も全く気が抜けません。轆かれそうになって何度もヒヤリとしたものです。

因みにこの「助動車」1台25,000円~35,000円位で販売されています。以前は38cc以下のエンジン付が主流だったそうですが、環境問題などで規制され電動が主流となりました。果たして「エコ」なのか、ただの「電力」の無使いなのか、どう思いますか?

北陸銀行 上海事務所：南 敏律